

トランプは

北朝鮮への戦争挑発をやめ

エルサレムの首都承認を取り消せ

アメリカは中東と朝鮮半島の2カ所で、戦争の火遊びを始め、世界中から非難を浴びています。トランプ大統領は12月6日に「イスラエルの首都をエルサレムと承認し、大使館を移転する」としました。これはイスラエルが不当に侵略し占領した、そしてパレスチナ側が将来の首都と考える東エルサレムを「イスラエルのもの」と認めることです。イスラエルの占領を認めないとした国連安保理決議に反するばかりか、かろうじて成り立っていた中東和平を根底から破壊する決定です。今でもイスラエルの暴虐きわまる占領に耐えているパレスチナの人々は、抗議の声を上げ公然と抵抗闘争に踏み出しています。直ちにエルサレムの首都承認を取り消すことを要求します。

朝鮮半島で米は朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対する戦争のどう喝を繰り返しています。12月はじめにステルス機や爆撃機を朝鮮半島に集め、米韓で最大規模の空軍演習を行いました。米は次

に海上封鎖を考えています。海上封鎖に踏み切れれば、北朝鮮の船舶と衝突し、戦争の口実とできると考えています。しかし、戦争は絶対起こさずにはなりません。戦争になれば何十万人、何百万人の朝鮮人、韓国人、日本人が犠牲となり、悲惨なことになります。米に戦争を起こさせないことこそ最重要の課題です。

朝鮮半島の非核化は交渉で決めるしかありません。米は北朝鮮に一方的に核とミサイルの放棄を要求し、言うことを聞かなければ攻撃するぞと脅しています。北朝鮮が米に攻撃されないためには核とミサイルが必要だと言うのも一理あるのです。米が本当に朝鮮半島の非核化をしたいなら、朝鮮戦争の休戦協定に違反して残している在韓米軍を撤退させることや、大規模な米日韓の軍事演習の凍結を提案すべきです。圧倒的な軍事力脅威を与えているのは米の側です。力ではなく実際に緊張を緩和し対話に進むべきです。

安倍政権は長距離攻撃ミサイル導入をやめろ Jアラートで市民を脅して、戦争準備をするな

安倍政権は歴代政権が「憲法9条に反するから」と導入できなかった長距離攻撃兵器を官邸と防衛省だけで導入決定しました。射程900キロの空対地ミサイルJASSM-ERや500キロのJSMミサイルの導入です。小野寺防衛大臣は「離島防衛用」と説明しましたが真っ赤な嘘です。JASSM-ERは日本上空から平壤を攻撃できます。F15戦闘機に積めば黄海から北京も攻撃できます。北朝鮮のミサイルの脅威を騒ぎながら、同じように2000キロ離れた場所を攻撃できるミサイルを保有するつもりなのです。私たちは他国に戦争を仕掛ける攻撃兵器の導入に絶対に反対です。

安倍政権は市民を誇張した戦争の危険で脅すのをやめるべきです。爆発もしないし、落ちてくる危険もほとんどない北朝鮮のミサイル実験で上空を飛ぶたびにJアラートを鳴らすのはやめるべきです。みんなが「古い船で遭難してかわいそうに」と思っているのに、工作員だ、ウィルス攻撃だとマスコミを通じた荒唐無稽な宣伝もやめるべきです。国民の生命を守るといふなら、対話と緊張緩和を実現し戦争にさせないこと、攻撃兵器導入ではなく、大幅な軍備縮小を行い福祉・医療切り捨てを即刻やめるべきです。

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL090-5094-9483

<http://www.liveinpeace925.com> Email liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp